

【別添2】(様式例2)

令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立飛騨高山高等学校 定時制課程

学校番号 5809

I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 「快活」「友愛」「創造」を校訓とし、心身ともに健やかで、より豊かな人間性と「生きる力」を備えた生徒の育成を目指す。 (2) 社会への貢献や地域の発展に寄与できる人材育成を目指し、社会人としての一般教養を身に付けさせるとともに、創造性にあふれ、明朗快活で心豊かな人間性を養う。		
2 スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー (GP) ・豊かな思考力と適切な判断力を身に付け、課題解決のため周囲と共同できる生徒 ・互いの人格を尊重し、意見を交流しながら、自らの役割と責任感を果たせる生徒 ・郷土を愛し、地域の発展のために、地域や社会の構成員として貢献できる生徒	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー (CP) ・課題の発見、解決能力を伸長するための「主体的・対話的で深い学び」・「探究的な学び」の推進 ・ICTを積極活用した教科指導 ・探究的な学びでの、コミュニケーション能力と情報発信力の育成 ・生徒の個性や長所、自己肯定感を伸長するためのカリキュラム編成と個に応じた細やかな指導の実施	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー (AP) ・向上心と、多様性を尊重する姿勢を持ち、周囲と協働しながら主体的に学ぶ意欲を持つ生徒 ・自らの目標や希望を実現するために、主体的に学ぶ意欲のある生徒 ・生徒会活動や学校行事などに自主的、主体的に参加し、より良い学校や人間関係を築いていく意欲のある生徒

3 評価する領域・分野	◇ 進路指導	
4 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・保護者対象アンケート「進路説明会等、保護者が必要とする進路情報を提供する場を設けている」(肯定的評価94.8%) ・生徒対象アンケート「本校では、生徒の将来の希望に沿った具体的な進路指導が行われている」(肯定的評価98.6%)	
5 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇望ましい勤労観・職業観を身に付けさせて、社会的自立を目指す。 ◇能力・適性及び多様な可能性を理解させて、卒業後の進路実現を目指す。	
6 重点目標を達成するための校内における組織体制	・進路指導主事と各学年の担任が連携を密にして、進路行事準備や進学就職等の進路指導に当たる。	
7 目標の達成に必要な具体的な取組	8 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 外部講師や地域人材を活用した進路ガイダンスを実施するとともに、関係機関と連携して在学中の就労を支援する。 (2) 職場体験(インターンシップ)等を通じて、就労の意義を理解し、社会的自立を促す (3) 三者懇談・二者面談及び個別面談等を通じて、自己の能力・適性や可能性を確認するとともに、適時に進路情報を提供する。	(1) 生徒及び保護者を対象とするアンケート各種講話(キャリア教育行事)の振り返り及びアンケート (2) 進路希望調査、就労調査 (3) 進路先決定状況	
9 取組状況・実践内容等	10 評価視点	11 評価
・進路ガイダンスや個別面談等の支援を通じて、進路を主体的に選択する力や望ましい勤労観・職業観の育成を図った。 ・進路行事(キャリア教育)については、企業や諸機関の協力のおかげもあり、予定通り実施することができた。 ・卒業予定者の進路状況(1月17日現在) 進学: 国立四大1、私立四大3、私立短大1、専門学校3 就職: 正社員4、就職活動中4	① 生徒が進路を積極的かつ主体的に選択し、勤労観・職業観を持つことができたか。 ② 各生徒の状況を把握し、それに基づいた指導ができたか。 ③ 進路状況の検証から個に応じた指導に努めたか。	(A) B C D A (B) C D (A) B C D

12 成 果 ・ 課 題	<p>○各種講演会や地元企業見学会などを通して、生徒たちの勤労意識を高めることができた。</p> <p>○他者との関わりを苦手とする生徒たちの自己肯定感を高め、就職につながる力を付けるために、学校設定科目「ジョブコミュニケーションⅠ、Ⅱ」を開設し就労意識の高揚を図ることができた。</p> <p>○キャリア教育行事すべてにわたって全職員で検討をし、その効率を上げるため時間や内容、方法などについて、来年度に向けて見直した。</p> <p>○進路指導部として、組織的に生徒の受験（進学・就職）指導をすることができた。</p> <p>▲キャリア教育に関する行事の目的が、職員に共通理解されていないところがあった。</p>	<p>総 合 評 価</p> <p>Ⓐ B C D</p>
13	<p>来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就業率を上げる。そのために自己理解・職業理解等をさらに高められるように一つひとつの進路行事の意味合いを生徒に熟知させ、行事後の振り返りを徹底していく。 ・ 9月の就職戦線第一波に乗ることができるための指導をする。 	

II 学校関係者評価

実施年月日：令和6年1月26日

<p>【意見・要望・評価等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校卒業後にも、地元の魅力を外部に発信できるような生徒を育ててほしい。 ・ 生徒の声をよく聞き、一人ひとりに寄り添った支援や指導をこれからも行ってほしい。
--